



霧島連峰

「日本の名山百選」にも選ばれている高千穂峰は、年間3万人もの登山者が挑む人気の山。4月頃から新緑、10月頃からは木々の紅葉を楽しめます。登山の「天孫降臨コース」は往復約6時間ほどです。



たかはるちょう

宮崎県 高原町

町からのメッセージ

高原町は宮崎県の西南部、天孫降臨伝説が残されている高千穂峰の麓にあり、かつて神々が暮らした「高天原」に由来するといわれています。毎年12月、古代ロマンを駆りたてられた先人に思いを馳せながら舞われる「祓川神楽」と「狭野神楽」は、「高原の神舞」として、国重要無形民俗文化財に指定されています。

また、日本最深の火口湖「御池」や全国でも数少ない国設野鳥の森や霧島山系の恵みの「温泉」などを有しており、これらの資源を活かし、高原町では水とみどりと神話につつまれた「元気で豊かな笑顔あふれるまち」を目指しています。



照葉大吊り橋

約1,700haに及ぶ日本最大の照葉樹林地帯であり、シイ類やカシ類など照葉樹林を構成する848種の植物と、野生の動物や鳥類・昆虫類他生物が数多く生息する豊かな森です。



あやちょう

宮崎県綾町

町からのメッセージ

本町の町づくりは照葉樹林と照葉樹林文化を基調とし、「自然と調和した“豊かで活力に満ちた教育文化都市”づくり」を基本理念としています。そういった自然に、町に古くから伝わる伝統の技が加わり、優れた工芸品が伝承されてきました。色彩豊かな染織や、木材の香り漂う家具、陶芸の数々は綾町の人々の暮らしを彩る、先人たちの知恵の賜物です。美しい自然に身を委ねるもよし、本場の技に触れるもよし。地域の営みが守ってきた、綾町だけの魅力を探しに足を運んでみてください。



オオゴマダラ

サンゴ礁が作り出した白い大地には青々としたサトウキビ畑が広がり、ここを北限とするオオゴマダラ蝶、アサギマダラ蝶が生息しています。町では条例に沿って、保護活動を行っています。



きかいちょう

鹿児島県 喜界町

町からのメッセージ

鹿児島市から南に380km、東経130度に位置し、年間平均2ミリの速度で隆起を続けるサンゴ礁の島です。

ミネラル豊富な土壌から生み出される在来の柑橘類や生産量日本一の白ゴマ、多くのサンゴ礁で彩るコバルトブルーの海、「南の島の貴婦人」と呼ばれる蝶オオゴマダラが飛び交う美しい島です。



豊年祭

400年近く継承される祭り。国指定重要無形民俗文化財の指定を受けています。人々が一年の喜びと感謝を神に報告し、翌年の豊穡を祈るために神前で「奉納踊り」を舞ったのが起源です。



たらまそん

沖縄県 多良間村

村からのメッセージ

多良間村では、琉球王朝時代に伝来した「琉球風水」が島に暮らす人々の精神的な支柱であり、今なお脈々と受け継がれています。風水によって形成された村独特の景観に、古からの村民の生活様式が伺えます。

また、誰もが一度は口にしたことのある多良間特産の黒糖も、その格別の味のみならず現代にも受け継がれる伝統の製法を活かした自然食として、長寿・美容に大変効果があると言われていました。生活様式、景観、食と、どれも多良間でしか体験出来ないものばかり。

是非一度、多良間にお越しください。



毎床溝

江戸時代に造られた「毎床溝」の総延長は約8kmにわたり、今でも地域住民の生活を支えています。地域が一体となって維持に努め、毎年「井出普請」と呼ばれる溝の修繕作業を行います。



くまむら

熊本県球磨村

村からのメッセージ

球磨村は熊本県の南部にあります。九州最大の鍾乳洞「球泉洞」や、村の中央を日本三急流の「球磨川」が流れ、眼下に雄大なパノラマが広がる自然豊かな遊びの宝庫です。

穏やかに、緩やかに、人と自然が調和した悠久のロマンが、今も受け継がれています。



焼畑

焼畑農法は4年間栽培すると再び20年ほど放置され、地力の回復を待ちます。連作障害をなくし、肥料も農薬も使わない森林と農地を循環することによって永続的に自然に利用する農法です。



しいばそん

宮崎県 椎葉村

村からのメッセージ

宮崎県の椎葉村は、「日本の三大秘境」とも言われる日本の原風景が残る村です。

村土の96%が森林という緑溢れるなかで、農林業などを生業としながら「焼畑」や「神楽」などを古く昔から受け継いでいます。

この貴重な財産を未来へ残していきたいと努力しています。